

別表第2 （ゴム引布製起伏ゲート設備）

機 器 名		検 査 内 容	検査の時期		規 格 値		
			製作時	据付時			
2 ゴ ム 引 布 製 起 伏 ゲ ー ト 設 備	1 適用範囲	空気式に適用する。 水式であっても必要があれば適用する。					
	2 取付金具	基準高		○	± 5mm		
		突出し長さ		○	現場調整可能	± 2mm	
					現場調整不可能	± 5mm	
		取付ピッチ		○	± 3mm		
	上下流間隔		○	± 5mm			
	3 配管	給排気管の据付位置及びレベル		○	±10 mm		
		内圧検知管の据付位置及びレベル		○	±10 mm		
		導水管の据付位置及びレベル		○	±10 mm		
		排水用配管の据付位置及びレベル		○	±10 mm		
		気密性		○			
	4 ゴム袋体	長さ	○		+300 mm －100 mm		
		幅	○		+10 mm	区 幅 分 の 範 囲	0～ 500 mm
					+30 mm		501～ 5, 000 mm
					+50 mm		5, 001～10, 000 mm
					+70 mm		10, 001～30, 000 mm
		厚さ	○		+10%、－ 5 %		
		締付トルク		○	挟み込み式 +30%、－20% 巻き込み式 +10%、－ 0 %		
		堰高のレベル		○	0～10%		
		外観		○	1 深さ 1 mm以上又は織布露出のゴム欠け、擦りきず、切りきずがないことを確認する。 2 ゴムの浮き、膨れがないことを確認する。 3 異物混入がないことを確認する。		
		気密性		○			
	止水性		○				

検 査 の 対 象		摘 要
原則として、設計図書に基づき適宜実測、場合により施工管理記録による確認。		
受け金具の河床据付基準高について左右岸中央各 1 箇所測定する。		
専用固定ボルトの突出し長さについて、10 本につき 1 箇所の割合で測定する。 なお、左記未満は 2 箇所測定する。		
専用固定ボルトの取付ピッチについて、10 箇所につき 1 箇所の割合で測定する。 なお、左記未満は 2 箇所測定する。		
「2 列固定式の場合」 専用固定ボルト又は受け金具の上下流間隔について、5 本につき 1 箇所の割合で測定する。 なお、上記未満は左右岸中央各 1 箇所測定する。		
据付位置及びレベル精度について、施工延長おおむね 10mにつき 1 箇所の割合で測定する。 なお、上記未満は 2 箇所測定する。		
0. 1Mpa×30 分間圧力低下が無く、また、石鹼水の泡立ちが無いことを確認する。		
罫書き線間の距離を測定するものとする。		
左右中央各 1 箇所測定する。		
左右中央各 1 箇所測定する。 なお、標準部のみとし、接合部等は除くものとする。		
専用固定ボルトの締付トルクについて 10 本につき 1 箇所の割合で測定する。 なお、左記未満は 2 箇所測定する。		
河床幅 20m未満は 3 箇所、20m以上は 5 箇所測定する。ただし、水位が基準状態に達していない場合、測定時の水位での計画堰高を設計堰高とする。		
目視又はスケール等により確認する。		
水の漏えい、空気の漏えいがないことを確認する。		
水の漏えいがないことを確認する。		

機 器 名		検 査 内 容	検査の時期		規 格 値
			製作時	据付時	
2 ゴ ム 引 布 製 起 伏 ゲ ー ト 設 備	5 操作機器 (1) 操作室内 操作機器	操作盤の位置		○	1 承諾図書に示す所定の位置に据付けられていること。 2 据付水平度が適切であること。 3 倒壊又は移動に対して適切な方法で固定されていること。
		ブロワの位置		○	
		制御盤の位置		○	
		立上り配管の位置		○	
	(2) 地下ピット機器	導水管の位置		○	1 承諾図書に示す所定の位置に据付けられていること。 2 据付水平度が適切であること。 3 倒壊又は移動に対して適切な方法で固定されていること。
		導水管のレベル		○	±10 mm
		フロート（又はバケット）の据付レベル		○	±20 mm

検 査 の 対 象		摘 要
据付状態を目視又はスケール等により確認する。		
据付状態を目視又はスケール等により確認する。		
承諾図書に示された位置について1箇所測定する。		
承諾図書に示された位置について1箇所測定する。		

機 器 名		検 査 内 容	検査の時期		規 格 値
			製作時	据付時	
2 ゴ ム 引 布 製 起 伏 ゲ ー ト 設 備	6 総合試運転	起立速度		○	起立開始から起立完了までの時間が要求時間であること確認する。
		倒伏速度		○	倒伏開始から倒伏完了までの時間を計測する。 なお、倒伏完了とは、内圧が 1 kPa 以下とする。
		自動倒伏装置の作動		○	自動倒伏設定水位（公差：±20 mm）で作動するか確認する。
		安全装置の作動		○	設計最大圧力で作動するか確認する。
		検知装置の作動	起立渋滞	○	設計起立時間×1.2 程度以内で作動するか確認する。
			設定圧力	○	設定圧で作動するか確認する。
			起立停止圧力	○	設定圧で作動するか確認する。
			水位計	○	表示及び信号が送られているか確認する。
			タイマー	○	設定時間で作動するか確認する。
		起立／倒伏操作		○	・操作盤面の操作による起立動作が正常に作動することを確認する。 ・操作盤面の操作による倒伏動作が正常に作動することを確認する。 ・操作盤面の操作による途中停止を行い停止することを確認する。

検 査 の 対 象	摘 要
操作盤面の「起立」釦を押して、「起立」表示灯が点灯するまでの時間を計測する。	
人為的に排気弁を「全開」にして、ゴム堰が倒伏するまでの時間を計測する。 ※水位が低い条件では倒伏時間が規定値を超える場合があるので、承諾図書の計算結果が要求時間以内であるか確認する。	
上流水位検知器を人為的に倒伏設定水位にし、作動することを確認する。 また、作動水位高を計測する。	
安全装置が作動した時の圧力を計測する。	
人為的にタイマーの設定時間を短くして作動するか確認する。	
空気を設定圧まで給気して作動することを確認する。	
空気を設定圧まで給気して作動することを確認する。	
河川等の水位と水位計の表示値を確認する。	
人為的にタイマーの設定時間を短くして作動するか確認する。	